

文部科学省における「犯罪被害者等基本計画」の進捗状況について

1. 「基本計画」における文部科学省の施策（32項目）

H17.12



直ちに取り組む施策

基本
計画
閣
議
決
定

精神的・身体的被害の回復・防止への取組

- ・児童虐待の防止、早期発見・早期対応のための体制整備
- ・犯罪被害者等に関する専門的知識・技能を有する臨床心理士の養成等
- ・法科大学院における教育による犯罪被害者等への理解の向上の促進
- ・少年被害者に対する学校におけるカウンセリング体制の充実等

支援等のための体制整備への取組

- ・教育委員会と関係機関・団体等との連携・協力の充実・強化及び学校における相談窓口機能の充実
- ・学校における相談対応能力の向上等
- ・犯罪被害者等である児童生徒が問題を抱えるに至った場合における継続的支援の促進
- ・重症PTSD症例に関するデータ蓄積及び治療法等の研究

国民の理解の増進と配慮・協力の確保への取組

- ・学校における命のかけがえのなさ等に関する教育の推進
- ・学校における体験活動を通じた命の大切さの学習についての調査研究の実施及びその成果の普及
- ・学校における犯罪被害者等の人権問題も含めた人権教育の推進
- ・学校における犯罪抑止教育の充実

2. 施策の進捗状況

直ちに取り組むこととされている主な施策の進捗状況

児童虐待の防止、早期発見・早期対応のための体制整備等

各学校・教育委員会における児童虐待防止に向けた取組の充実を図るため、学校等における児童虐待防止に関する調査研究の成果を踏まえ、虐待防止に向けた研修教材を作成中

犯罪被害者等である児童生徒が問題を抱えるに至った場合における継続的支援の促進

各地域における問題を抱えた児童生徒への支援の充実を図るため、いじめ・暴力行為・不登校・児童虐待・高校中退といった課題ごとに、それらの未然防止、早期発見・早期対応につながる効果的な取組について調査研究を行い、その成果の普及を図る「問題を抱える子ども等の自立支援事業」を実施

重症PTSD症例に関するデータ蓄積及び治療法等の研究

科学技術振興調整費「重要課題解決型研究等の推進」プログラムの課題「犯罪・テロ防止に資する先端科学技術」（平成17年度開始）において、「犯罪、行動異常、犯罪被害者の現象、原因と治療、予防の研究」を継続し、より多くの症例を蓄積しながら、治療法の有効性を明らかにしていくこととする（平成17～19年度研究）

学校や家庭において子どもたちに生命のかけがえのなさ等に関する教育を推進

地域の人材や体験活動を生かして、命を大切に作る心などの道徳性を育むための実践研究を行う「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」を実施

一人一人の親が家庭を見つめ直し、それぞれ自信を持って子育てに取り組んでいく契機とするため、「家庭教育手帳」を作成し、乳幼児や小中学生を持つ全国の親に配布

体験活動を通じた命の大切さの学習の実施

「豊かな体験活動推進事業」において命の大切さを学ばせることに有効な体験活動について調査研究を実施し、ブロック交流会を開催して教育委員会・学校に普及

学校における犯罪抑止教育の充実

「非行防止教室等プログラム事例集」、「児童生徒の規範意識を育むための教師用指導資料」(非行防止教室を中心とした取組)を作成、各教育委員会・学校へ配布し、引き続き、これらを活用して非行防止教室の実施をはじめとした犯罪抑止教育の充実を図る